

# 東京海上日動火災保険株式会社 プレゼン資料

---

平成31年3月8日

「認知症バリアフリー」に関する懇談会

*To Be a Good Company*



TOKIO MARINE  
NICHIDO

東京海上日動

# 1. 東京海上日動の概要(平成30年3月末現在)

- 本社：東京都千代田区丸の内1-2-1
- 業容：
  - ✓ 正味収入保険料：2兆1,447億円（平成29年度）
  - ✓ 総従業員数：17,483人
  - ✓ 国内営業網：126営業部・支店、386営業室・課・支社、22事務所
  - ✓ 損害サービス拠点：242カ所（国内）
  - ✓ 代理店数：50,616店（国内）
  - ✓ 海外 世界：38の国・地域で事業を展開

※「国内営業網」「損害サービス拠点」は平成30年4月1日現在



## 2. 社内における認知症サポーター養成の取組

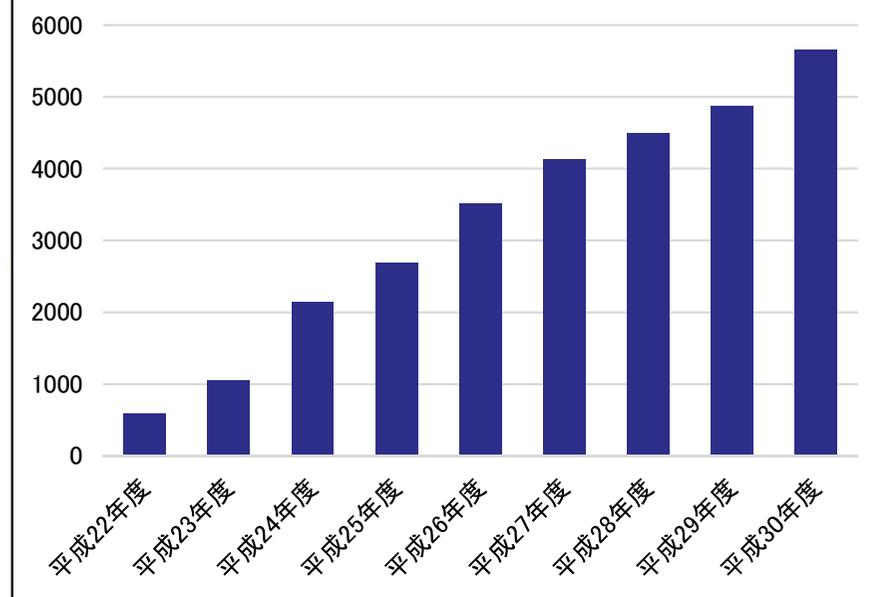
- ・東京海上グループは、「誰もが安心・安全で健やかに暮らせる社会」を目指し、平成23年から社員が講師となり「認知症サポーター養成講座」を推進。5,000人超の社員が「認知症サポーター」に。
- ・社員は、認知症への正しい理解と知識を、日常生活や仕事を通じて認知症の方やご家族を温かく支えるために、お客様との対話や商品・サービス開発に役立てています。
- ・近年、社員が取引先企業の従業員を対象に講座を開催するなど、取り組みの輪が社外にも広がっています。
- ・東京海上グループは、この取り組みを通して、SDGs（持続可能な開発目標）の達成にも貢献していきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
世界を変えるための17の目標

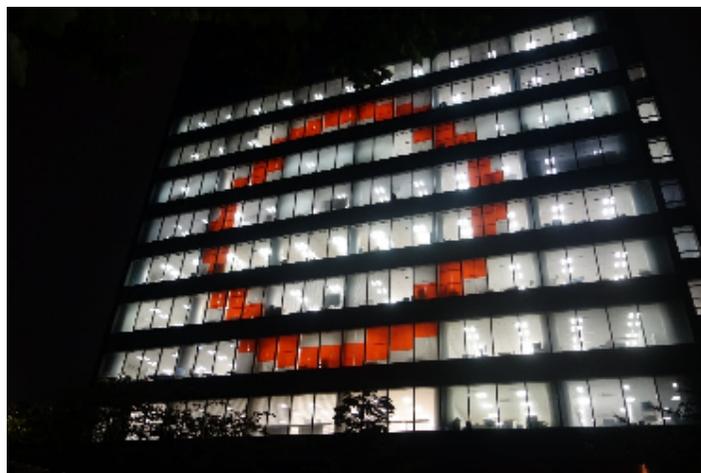
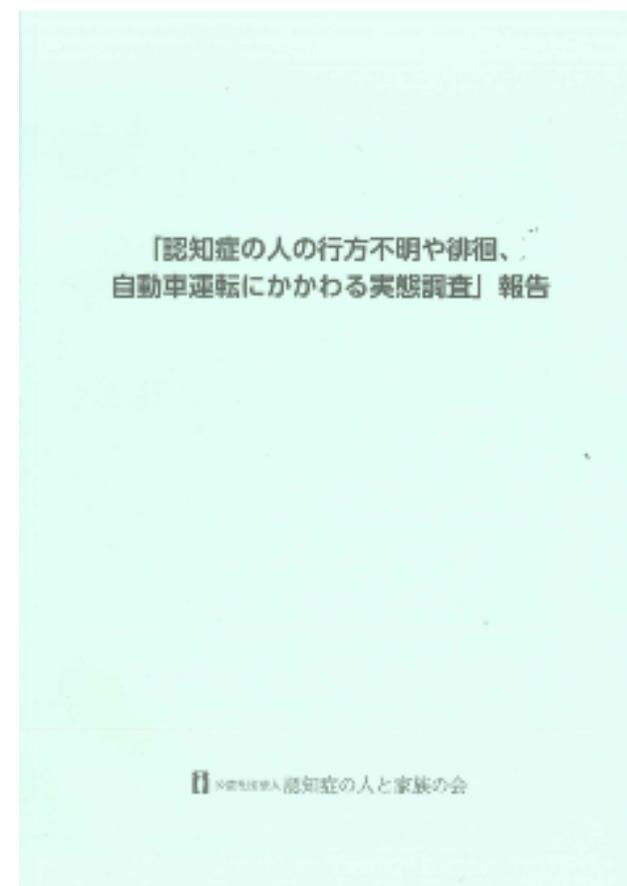


認知症サポーター講座受講者数(累計)



### 3. 認知症に関する取組み(支援面)

- ・9月21日の「世界アルツハイマーデー」に合わせ、弊社の三番町ビルのライトアップや、京都で行われた「認知症メモリーウォーク・きょうと」への協賛・参加を行いました。
- ・また、セーフティネットリンクージ社による「みまもりあいプロジェクト」の活動に賛同し、検索協力者（アプリダウンロード者）を増やす活動を行っている他、公益社団法人認知症の人と家族の会が実施した調査への協力を行う等、様々な取組みを実施しています。



## 4. 認知症に関する取組み(商品・サービス面)

### 認知症関連 保険商品

- **認知症の方およびそのご家族に向けた専用保険「認知症あんしんプラン」を2018年10月にリリース**いたしました。
- 認知症になってから加入できる保険は**業界初**であり、「認知症の人と家族の会」のご協力を得て開発しております。
- 「賠償責任補償」「行方不明の際の捜索費用補償」「交通事故等によるケガの死亡・後遺障害補償」「事故の相手方への死亡見舞費用補償」の4つの「あんしん」でご加入者をお守りします。

## Total assist からだの保険(傷害定額) 認知症あんしんプラン

月払保険料  
(保険期間:1年間) **1,300<sup>※1</sup>円**

### ご加入者向け付帯サービス

#### ● 捜索支援サービス

当社がご契約者に配布する「**緊急連絡ステッカー**」を認知症の方の持ち物にあらかじめ貼り付けていただきます。行方不明になった認知症の方を発見した方が同ステッカー記載のフリーダイヤルに連絡してIDを入力すると、連絡先等の個人情報を共有せずにご家族等と通話することができます。

#### ● 電話介護相談

ケアマネジャー・社会福祉士・看護師等が電話で介護に関するご相談を承ります。認知症のご不安に対しては、医師の監修による「もの忘れチェックプログラム」をご利用も可能です。

### 認知症になった方とご家族を「4つのあんしん」でお守りします

1. 線路への立ち入りで電車を運行不能にさせてしまったこと等により生じた**賠償責任**に関する補償



保険金額 **1億円**

2. 認知症になった方が**行方不明**となった場合の**捜索費用<sup>※2</sup>**の補償



保険金額 1事故につき **30万円**  
併発費用を遡りて **100万円**

3. 認知症になった方の**交通事故**等による**おケガ**に関する補償(死亡・後遺障害)



保険金額 **50万円**

4. 日常生活に起因する偶然な事故でお相手方が死亡したときの**お見舞費用**の補償



1名につき **15万円**

※1 保険の申込となる方で本人の年齢が70歳以下の場合のご契約条件に適用される保険料を記載しています。  
※2 行方不明となった日から24時間を経過してもなお発見されなかった場合に、その経費のみに応じた補償が対象です。

## 5. 認知症バリアフリーの実現に向けた課題・解決策

### ● 提供する補償に関して

・「認知症になった時」や、「賠償事故を起こした時」に備える補償の提供が中心となっており、「認知症になると、困る・お金が掛かる」、「認知症の人が事故を起こす」といった印象を与える恐れがある

→上記懸念点に留意しながら、ケアやサポート等のサービスとセットで補償提供することが重要

### ● 見守りサービスに関して

・既存の見守りネットワークには、地域間の互換性がないものが多く、例えば、認知症の方が電車で遠くまで移動をした際に、効果的な検索が難しい

→地域間に互換性があると、より認知症本人や家族の必要とするサービスの提供につながる。また、保険会社も保険商品のご案内と併せて、見守りネットワークの普及を行うことができる